

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中 学	学 年	3 年		
教 科	保健体育	科 目	体 育	単位数	3
担当者	1組	永井 孝裕			
教科書	保健体育 大修館書店		副教材		

○学習到達目標

- ・生涯にわたってスポーツに親しみ、主体的に運動を継続するような能力と態度を身に付ける。
- ・自分の体力・筋力レベルを知り、高校3年間の目標設定を行う。
- ・基礎体育の授業を基に集団の中での各個動作の習得・実践ができるようになる。
- ・高校生として基本的な体力をつけ、規則正しい生活ができるようになる。
- ・各個動作・集団行動で学んだ能力を生かしながら集団スポーツができるようになる。

○教科道徳教育到達目標

形は心の表れであるを実践させる。心を整える・時間を守る・人の話を聞くといった集団生活の中で自立して行動する態度を養う。スポーツを通して集団の中で他者と協力したり、支援しながら個人として自律した行動ができるようになる。

○学習方法

- ・グラウンド、体育館、広石グラウンドの体育施設を使用し、指導計画に基づいて、集団行動およびスポーツ実技を行い、学習到達目標を達成する。
- ・ICT機器および、ワークシートを活用し、グループワークでの動作解析や問題解決学習を行い、「できた」と喜びを味わえるような取り組みを行う。

○グレード別授業の基準

- ・グレード別授業ではなく、クラス単位での授業を行います。

○指導計画(学習内容・考查等の予定)

6月 オリエンテーション
 6月 スポーツテスト・集団訓練
 7月 ソフトボール 保健体育
 10～11月 武道 柔道・バレーボール ・保健体育
 12月 持久走
 1月2月 持久走 保健体育

○評価方法

各学期ごとに、期末考查・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
 (期末考查50% ルーブリック評価50%)
 ※ルーブリック評価観点表は別紙参照

観点	評価段階	A	B	C	D
	評価項目				
知識及び技能	技術テスト 技術テストの評価項目については単元ごとに設定する。	80%以上の評価	65%以上の評価	50%以上の評価	50%以下の評価
	技術確認再テスト	他の生徒と教え合うなど、工夫して練習を行い、再テストに臨んだ。その結果、80点以上取得した。	工夫して練習を行い、再テストに臨んだ。その結果、80点未満であった。	再テストに向けて準備をした。	何も準備せずに再テストに臨んだ。
	競技特性やルールの理解 確認テスト	試合におけるルールや、運動の技術の名称や行い方について80%以上理解している。	試合におけるルールや、運動の技術の名称や行い方について65%以上理解している。	試合におけるルールや、運動の技術の名称や行い方について50%以上理解している。	試合におけるルールや、運動の技術の名称や行い方について理解していない。(理解度50%以下)
思考力・判断力・表現力等	練習の行い方	自己の課題を分析し、適切な運動の行い方や練習方法を選択している。	適切な運動の行い方や、練習方法を選択している。	運動の行い方や練習方法を選択しているが、適切でない。	運動の行い方や練習方法について、選択しようとしていない。
	安全に対する理解	危険な行為を予測し、学習した安全上の留意点を練習場面で実践している。	学習した安全上の留意点を練習場面で実践している。	学習した安全上の留意点を練習場面で実践しているものの、適切ではない。	学習した安全上の留意点を練習場面で実践しない。危険な行為を行う。
主体的に学習に取り組む態度	学習態度	授業において他の生徒との協同の中心となり、全体の理解を深める役割を担う	授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合う	授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとする	授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとしない
	授業中	各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。